



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:<http://www.mokusankyo.jp>
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 第28回山形県林業まつり開催！
- 2. 遠田勝一氏 山形県林業賞受賞決定!!
- 3. 全国木材産業振興大会開催!!
- 4. 森創会 20周年記念祝賀会開催！
- 5. 上山市産業まつりに支部が出展！
- 6. シリーズ森林・林業白書解説！



1 第28回山形県林業まつり開催!!

10月13～14日秋晴れの中、天童市にある山形県総合運動公園第二南駐車場内特設会場にて、約3万6千人の県民からご来場いただき、第28回山形県林業まつりが盛大に開催されました。林業まつりは、森林や林業さらには環境に対する県民の理解を深め、木材や林産物などの利用を推進すると共に、美しく健全なやまがたの森林づくりを目的としています。

併催行事の第65回山形県林材業年次大会では、細野武司実行委員長の挨拶のあと、副委員長阿部昭理事長が業界の中央政府等への要望事項について声高らかに提案し満場一致で承認されました。



その後、副知事や国会議員、林野庁木材産業課長等交え、恒例の丸太カットで林業まつりオープンとした。

会場では、青空木工教室（山形木材業組合）や子ども上棟式（NPOやまがた住環境共生ネットワーク）、木製遊具（県森連）、木製巨大昆虫（みどり推進機構）、幼児積木競争（農林大学校）、丸太切り競争（天童市森林組合等）、各木工体験（林業振興協議会等）に多くの子ども達が集まり、本格的なリース作り（緑を育てる女性の会）やけん玉体験など親子で一日中楽しめるイベントが続いた。



県木材青壮年協議会による児童木工工作コンクール表彰式も開催され、知事賞、木産協理事長賞など約15点が木産協テント内で展示された。木産協関連テントでは、合法木材普及コーナーやJAS材（機械等級区分無垢材）の展示や強度確認体験コーナー、県産広葉樹フローリング・壁材等展示コーナー等で本物の木材に触れていただいた。高性能林業機械コーナーでは、県立農林大学校林業経営学科学生によるハーベスタ（伐倒・枝払い・玉伐等）とチェーン





業マン」は子供たちより、親御さんに好評の次回イベントから対抗したい。原木キノコの植菌体験は県指導林業士会と林業グループ連絡協議会が運営し、人気で毎年2日目の途中で品切れ状態となる。青年林業士会は木工クラフト体験で本格的な材料を揃え、高度な作品製作となった。

なお、第28回林業まつり実績報告会は10月26日（月）に山形国際ホテルで開催されます。委員の皆様はぜひご参加いただきますようお願い致します。

ソーによる作業の比較実演等が披露された。県森林研究研修センターによる最新の試験研究成果の展示や県みどり自然課によるやまがた緑環境税や「やまがた百名山」、環境関連パネル展示・体験コーナーが賑わいを見せていた。今年もやってきましたチェーンソーアートのコーナーでは、出羽一竜馬チェーンソーカーバーズがデモンストレーションを繰り返し、爆音と目の前で作品製作を楽しめる人気のコーナーになった。森林協会の「なりきり林



2 遠田勝一氏 川村造林記念山形県林業賞受賞決定!!

うれしいニュースが入りました。今年の川村造林記念山形県林業賞に、木産協副理事長、素材生産部会長である遠田勝一氏が11月27日（火）ホテルメトロポリタン山形「朝日の間」にて、知事から受賞することが決定しました。大変名誉なことです。詳細は、次号12月号でお知らせしますが、昨年度の沖田氏、岩浪氏に続く慶事であります。木産協としましては、臨時の理事会開催と受賞記念祝賀会を12月6日（木）ホテルメトロポリタン山形で計画しています。正式なご案内は後日郵送しますが、日程の調整をよろしく願います。

もうひとかたの林業賞受賞者は、米沢地方森林組合代表理事組合長 川合要一氏です。お二人とも永年にわたり県内森林・林業・木材産業の振興に大きく貢献されてきたことが評価されたものであります。

3 第53回全国木材産業振興大会開催!!

第53回全国木材産業振興大会が10月18日(水)広島市 広島国際会議場フェニックスホールで開催された。今回は全国木材組合連合会の創立65周年を記念したもので、「木をつなぐ～神々の時代から、現在(いま)、そして未来へ」を大会スローガンに中国支部が担当した。本県からは、阿部理事長と遠田副理事長がそれぞれ夫人同伴で出席した。大会には、会員のほか牧元林野庁長官や湯崎広島県知事、地元国会議員など来賓も含めて約750人が参集した。議事では、木材の利用拡大や木材産業振興のための予算確保などを盛り込んだ大会宣言を全会一致で採択し、「森林・林業の再生に向けた共同行動宣言2018」を読み上げた。記念講演では、平成の大遷宮が行われた出雲大社の権官司、千家和比古氏が演題「高大な木造り神殿～出雲大社をめぐる“なるほど”探訪」と題し講演した。次回、第54回全国木材産業振興大会は来年11月6日に高知市で開催される。



4 森創会 20周年記念祝賀会開催!!



10月5日(金)新庄市 ニューグランドホテル新庄にて森創会(佐藤久一会長)の20周年記念祝賀会が開催され、約70名の林業・行政関係者が参集し、大きな節目を祝った。同会は1997年最上郡を中心とした5社から発足し、情報の共有、連携等による事業の安定を目指してきおり、現在は15社が会員となっている。佐藤代表は「われわれ業界には追い風が吹いていると言われているが、まだまだ課題は多い。会員の結束力を高め、大樹の年輪のごとくし

っかりと地域に根を張り、山形県の木材利用を推進していきたい。」と挨拶した。来賓として、県町村会会長の高橋最上町長や渡部戸沢村長、伊藤県議、山形森林管理署最上支署長等が祝辞を述べた。その後、小松県議の乾杯で祝宴が始まった。

5 上山市産業祭りに上山木材業組合支部が出展!!

10月27～28日の両日、上山市ケヤキの森地内 市体育文化センター等で上山市産業まつりが開催された。上山市内の企業・商店・各種団体のブースが立ち並び、楽しい企画や自慢の品を展示販売するイベントで、上山木材業組合支部が木製品



の展示や積み木遊び、ワークショップを開催し、多くの市民等で賑わっていた。大工組合の上棟式用構造躯体にも納材している。また、パネル展示で支部のメンバーの活動内容等紹介もしている。なお、積み木遊びコーナー用に、木産協から県産スギ積み木を1000ピース貸し出している。他支部でも、ご活用いただきたい。



貸し出している。他支部でも、ご活用いただきたい。

6 シリーズ森林・林業白書 解説 (第 4 章)

第 4 章. 木材産業と木材利用

我々木材産業に関わるものが読むべき章が p 123 この第 4 章である。我が国の木材自給率は昭和 30 年代以降、外材輸入の増加等により減少し、平成 14 年に過去最低の 18.8%となった。その後、人工林の資源の充実や技術革新による合板への国産材利用の増加等を背景に増加傾向で推移し、平成 28 年度は新設住宅着工数の増加等もあり 34.8%となり 6 年連続で上昇している。木材需要量は昭和 48 年に 1 億 2 千万 m³を記録した後、オイルショック等で増減を繰り返し、平成 21 年にリーマンショックの影響により、6 千 5 百万 m³と大幅に減少した。近年は回復傾向にあり平成 28 年には 7 千 8 百万 m³となった。木材価格の動向としては、平成 29 年は国産材の素材価格も製品価格もやや上昇している。また、木材産業では、製材生産の大規模工場への集中、合板生産に占める国産材の割合の上昇等の動きが見られる中で、安定的かつ効率的な原木調達が課題となっている。木材利用面では、都道府県別公共建築物の低層木造率について本県が 57.2%で全国 1 位となった。

7 11 月以降の行事予定

11 月 13 日	全木連臨時総会 (東京)	理事長他
11 月 16 日	県工業技術センター百周年祝賀会 (山形市)	副理事長
11 月 19 日	舟山やすえ政経セミナー (山形市)	副理事長・専務
11 月 22 日	合法木材研修会・講演会 (山形市)	副理事長他
11 月 26 日	第 28 回林業まつり実績報告会 (山形市)	理事長他
11 月 28 日	木材利用推進全国会議 (東京)	専務
11 月 29 日	東北地区需給情報連絡協議会 (盛岡市)	専務
11 月 30-1 日	木産協青年部研修 (奈良市)	専務

8 日本百名山シリーズ紹介 (剣岳)

日本第 22 位の標高 2,999m ですが、登山難易度では百名山中ぶっちぎりの 1 位である。他の百名山にも鎖場・梯子等危険個所が数か所あるという山はありますが、剣岳は危険個所が連続する登山道で、緊張感が溢れる岩稜地帯を踏破するコースである。山頂直下の剣山小屋を基地とすると天気や山の最新情報を入手し易く体力的にも余裕ができる。自分は手前の雷鳥沢を宿としたため、剣山小屋まで別山乗越経由で約 3 時間の時間と体力をロスしている。その後、岩稜地帯の急登が続くので、天候と体力保持には注意を払いたい。剣山小屋から一服剣のピークまでお試しの鎖場等があるので、無理と感じた人はここで引き返した方がよい。次のピーク前剣まで辿り着けば、山頂が見える。しかし、ここからは有名な平蔵のコル、カニのタテバイ、カニのヨコバイなどが続き、ほとんど四つん這いの状態が続く。滑りやすい岩盤なので雨はもちろんガスがかっていても登山はやめた方がよい。ヘルメットとハーネスは必需品で、ほぼ垂直の壁を登ることになり、前の登山者の靴が自分の頭の上にある感じが続く。下りはかなり下の方まで見えるのでガスっていたほうが恐怖感は減るかも。一般の人が多く登るであろう日本百名山にこの山を加えたのは間違いではないかと感じた山旅である。槍ヶ岳、奥穂高の比ではないことをお伝えしたい。



10 9月期の住宅着工状況

平成30年9月期の県内新設住宅着工戸数は556戸となり、対前月比108.4%、対前年同月比95.7%、前年累計比114.1%となった。地域別で寒河江市と米沢市が前年比・累計比とも大きく伸びている。木造率は今月85.6%となっている。

1 県内新設住宅着工戸数(平成30年9月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
9月	581	299	216	1	65	579	2	465	80.0%	330	6	129
29.1~9月	4,066	2,252	1,268	45	501	4,030	36	3,488	85.8%	2,509	73	906
10月	537	236	246	2	53	535	2	394	73.4%	279	8	107
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
12月	457	227	172	1	57	455	2	392	85.8%	268	8	116
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
5月	433	239	144	4	46	426	7	368	85.0%	248	7	113
6月	674	366	247	1	60	674	0	545	80.9%	389	14	142
7月	469	321	104	0	44	467	2	419	89.3%	302	8	109
8月	513	257	205	0	51	479	34	410	79.9%	275	16	119
9月	556	315	190	0	51	546	10	476	85.6%	336	24	116
対前月比	108.4%	122.6%	92.7%	-	100.0%	114.0%	29.4%	116.1%	-	122.2%	150.0%	97.5%
対前年同月比	95.7%	105.4%	88.0%	0.0%	78.5%	94.3%	500.0%	102.4%	-	101.8%	400.0%	89.9%
29.1~当月計	4,066	2,252	1,268	45	501	4,030	36	3,488	85.8%	2,509	73	906
30.1~当月計	4,640	2,324	1,780	22	514	4,329	311	3,660	78.9%	2,475	98	1,087
対累計前年比	114.1%	103.2%	140.4%	48.9%	102.6%	107.4%	863.9%	104.9%	-	98.6%	134.2%	120.0%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成30年9月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	556	4,640	95.7%	114.1%	3,660
山形市	126	1,432	66.3%	133.6%	944
上山市	5	94	29.4%	119.0%	78
天童市	40	243	129.0%	72.8%	228
山辺町	7	61	700.0%	156.4%	60
中山町	6	26	100.0%	83.9%	25
東南村山	184	1,856	75.1%	119.4%	1,335
寒河江市	59	242	178.8%	113.6%	239
河北町	5	53	125.0%	106.0%	50
西川町	0	6	-	66.7%	5
朝日町	0	4	-	200.0%	4
大江町	7	22	233.3%	104.8%	21
西村山郡	71	327	177.5%	110.8%	319
村山市	6	54	150.0%	117.4%	52
東根市	27	266	40.3%	68.7%	252
尾花沢市	3	28	60.0%	52.8%	28
大石田町	1	4	100.0%	16.0%	4
北村山	37	352	48.1%	68.9%	336
村山地域	292	2,535	80.7%	107.4%	1,990
新庄市	13	115	162.5%	132.2%	111
金山町	0	6	0.0%	200.0%	6
最上町	1	11	50.0%	84.6%	9
舟形町	0	4	0.0%	66.7%	4
真室川町	0	0	0.0%	0.0%	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	6	0.0%	200.0%	5
鮭川村	0	9	0.0%	100.0%	8
戸沢村	2	8	-	200.0%	8
最上地域	16	159	100.0%	116.1%	151
米沢市	75	694	117.2%	165.6%	412
南陽市	10	69	66.7%	44.8%	67
高畠町	11	66	183.3%	143.5%	63
川西町	8	56	400.0%	233.3%	26
東南置賜	104	885	119.5%	137.6%	568
長井市	3	91	27.3%	123.0%	87
小国町	2	3	-	37.5%	3
白鷹町	18	54	-	225.0%	43
飯豊町	1	10	-	125.0%	9
西置賜	24	158	218.2%	138.6%	142
置賜地域	128	1,043	130.6%	137.8%	710
鶴岡市	44	373	104.8%	100.5%	358
三川町	8	47	-	335.7%	39
庄内町	7	60	-	171.4%	53
田川	59	480	140.5%	114.3%	450
酒田市	52	384	86.7%	102.4%	321
遊佐町	9	39	300.0%	243.8%	38
飽海	61	423	96.8%	108.2%	359
庄内地域	120	903	114.3%	111.3%	809

注:累計は平成30年1月~